作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

HONDA CBR250RR
POWERBOX PIPE
取付説明書

SP TADAO

<取付所要時間の目安>
約 50分

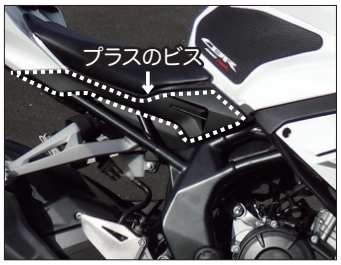
〈 商品内容 〉 ※サイズの単位：mm

① POWERBOX パイプ	×1	③ アルミカラー（10mm厚）	×1
② 6角フランジボルト（M8×60）	×1	④ 6角フランジナット（M8）	×1

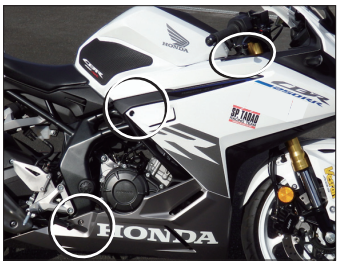
⚠ 作業中に O_2 センサーを取り外した状態でメインスイッチを ON にしますとセンサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。O_2 センサーを固定してマフラー交換作業が完全に終了するまでメインスイッチは絶対に ON にしないで下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には車輌ご購入先のバイクショップに相談して下さい。

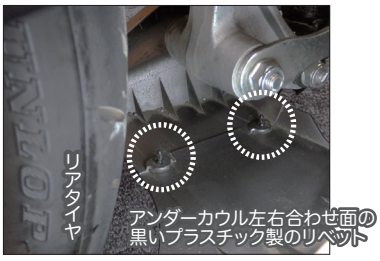
※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ ネジロック剤 ”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を 貼って養生しておく事をお勧めします。

❶ 右・アンダーカウルを外して 純正マフラー ・ 一式を取り外します。

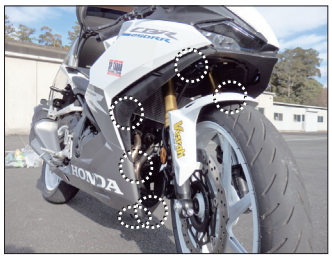


シングルシートを取り外し、（下からボルト2箇所で固定）
黒いプラスチック製のリベット 1 箇所と上面のプラスのビスを抜き取り・・・
点線で囲んだシート右下の黒いパネルを取り外します。





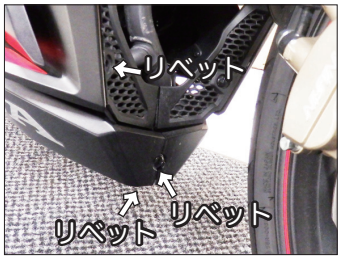
右・アンダーカウルの各固定箇所を外していきます。、



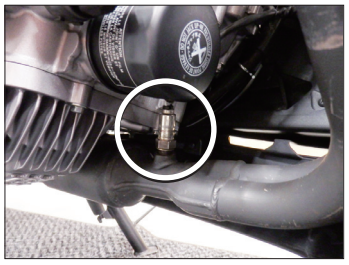
黒いプラスチック製リベット6箇所を
抜き取り、右・アンダーカウルを
車体から取り外します。

※2017 年～2022 年の前期モデル
（車両型式：2BK-MC51 / MC41）
右・アンダーカウルの外し方

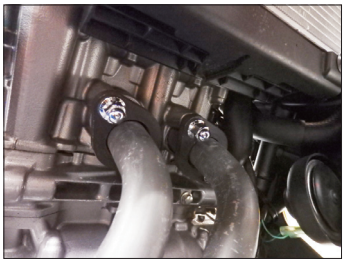
マルで囲んだビス5ヶ所と矢印で記したリベット8ヶ所を外し、内側に隠れている
ウィンカーの配線カプラーを抜き取り、アンダーカウルを車体から取り外します。



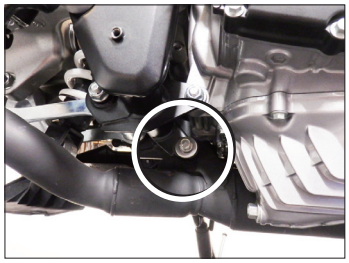
サイレンサー接合部のバンドを緩め、サイレンサー上部固定箇所を取り外します。
（取り外したボルト類は後で再使用します。）
サイレンサーボディーを上下左右に小刻みに揺する様にしながらゆっくりと抜き取ります。



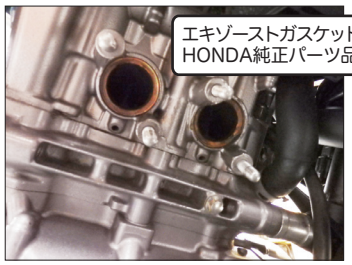
O_2 センサーを配線を傷めない様に
注意しながらエキゾーストパイプから
取り外します。（あとで再び取り付けます。）



エンジン側固定部のフランジナットを
全て取り外します。（あとで再使用します。）



エンジン下に固定しているボルトを緩めながら
エキゾーストパイプを車体から取り外して行きます。

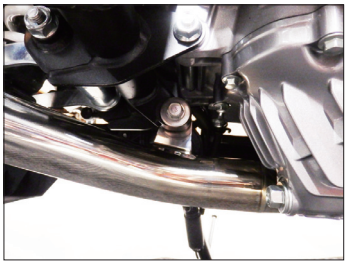


エキゾーストガスケット
HONDA純正パーツ品番：18291-MN5-650

排気ポートのエキゾーストガスケットを新品に交換します。
（車種専用サイズのものを別途お買い求め下さい。）

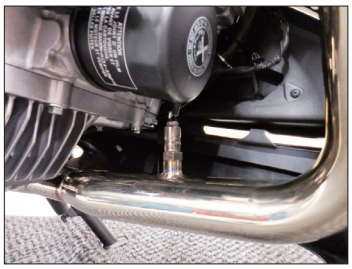
❷ POWERBOX パイプ を仮組みします。

POWER BOXパイプ をエンジンに仮組みします。固定には純正マフラーに使用していたフランジナットを再使用します。



エンジン下は純正マフラーの固定方法と同じ様にして付属のフランジナット④を使用しながら仮止めします。(ボルトは再使用)

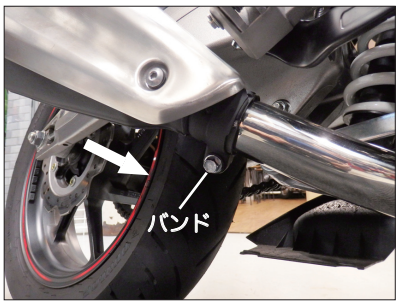
※2017 年～2022 年モデル
（車両型式：2BK-MC51 / MC41）に
装着の場合には下図の様に付属の
ボルト② とカラー③ を使用して固定します。



O_2 センサーを配線を傷めない様に注意しながらエキゾーストパイプに本締めにて固定しておきます。

❸ サイレンサーボディー を仮組みします。

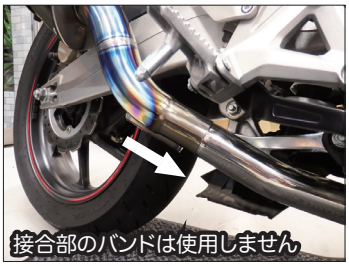
差し込み部のガスケットは再使用します。
著しく傷んでいる場合には新品に交換します。
（別途お買い求め下さい。）



サイレンサーボディーをゆっくりと
差し込んで行きます。

サイレンサーボディー上部を仮止めします。
接合部のバンドも軽く締め込んでおきます。

※ POWERBOX サイレンサーとの組み合わせの場合　（差し込み部のガスケットは使用しません。）



POWERBOXサイレンサーをPOWERBOXパイプにゆっくりと差し込みます。　一番奥の止まる所（パイプ径が太くなる所）まで差し込んで行きます。
差し込み部のガスケットは使用しません。　その代わりに接合部からの水滴垂れや排気漏れを防ぐ為にもあらかじめ液体ガスケットを塗布して組み付ける事をおすすめします。　本締め前にスイングアームなど、各部との隙間をしっかりと確認します。
※その他取り付けの詳細は『POWERBOX サイレンサー』製品に同梱されている取り付け説明書を参考にして下さい。

⚠ POWERBOX サイレンサーの
チタンパイプの表面はとても
デリケートです。
素手で触る事は極力避けて
軍手を使用して作業する事を
おすすめします。

❹ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、本締めを行ないます。

❺ マフラー全体をきれいに拭き上げます。

マフラーに付着した汚れや油分をパーツクリーナーなどの脱脂剤でしっかりと拭き取ります。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

❻ エンジンを始動し、接合部から排気漏れのない事を確認します。

❼ アンダーカウルを取り付けます。　マフラーと干渉する所がないか、各部の隙間をよく確認します。
再びエンジンを始動し、全体的に問題がない事を確認できましたら作業終了です。

ウィンカーの配線を外していた場合にはコネクタの結線を確実に行ない、ウィンカーが正常に作動する事を必ず確認して下さい。

※ 安全にご使用いただく為にも取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
※ 装着直後は、しばらくの間パイプ内部に残った油分により、臭いや排気出口から白煙が発生する場合がありますが、徐々に収まっていきます。
※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではございません。
※ 本製品（POWERBOX パイプ）ではステンレス素材を使用しております。ステンレスはその特性上熱によって焼け色が付いてきますが、
異常ではありませんのでご安心下さい。(ご使用状況によりましては均一ではなくまだら模様に焼け色が付く事があります。)
また、この焼け色を落とすには弊社より発売中の『ホロクリンジェル SP』（品番：HC-03）をお使いいただきますと
非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。（ホロクリンジェル SP はステンレス専用です。チタン素材の焼け色落としには使えません。）

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。